



XBRL Japan 第9回シンポジウム

決算短信等へのXBRLの本格導入に向けて ー 東京証券取引所における取組み ー

平成18年7月18日
株式会社東京証券取引所

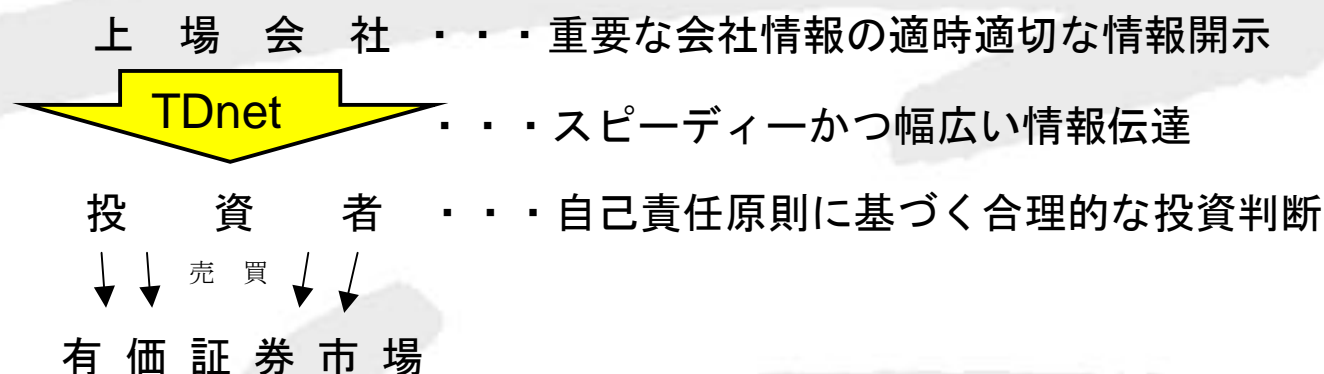
Copyright2006(c) Tokyo Stock Exchange,Inc. All rights reserved

適時適切な情報開示の重要性

- 投資から信頼される公正かつ健全な有価証券市場を運営するためには、合理的な投資判断の材料となる重要な会社情報が適時適切に開示されることが必要不可欠

適時適切な情報開示は、投資者の証券市場に対する信頼の根幹を成すもの

東証としても、重点政策課題として、重視



◎ 適時適切な情報開示の意義

- | | | |
|----------------|---|--------------|
| ・投資者の自己責任原則の確立 | → | 健全な有価証券市場の形成 |
| ・公正な価格形成の確保 | → | 効率的な市場機能の提供 |
| ・インサイダー取引の未然防止 | → | 市場の公正性確保 |

わが国のディスクロージャー制度

ディスクロージャー制度

法定開示 (証券取引法)

- ・有価証券報告書
- ・半期報告書
- ・臨時報告書

適時開示 (証券取引所規則)

- ・発生事実に関する開示
- ・決定事実に関する開示
- ・決算情報等に関する開示

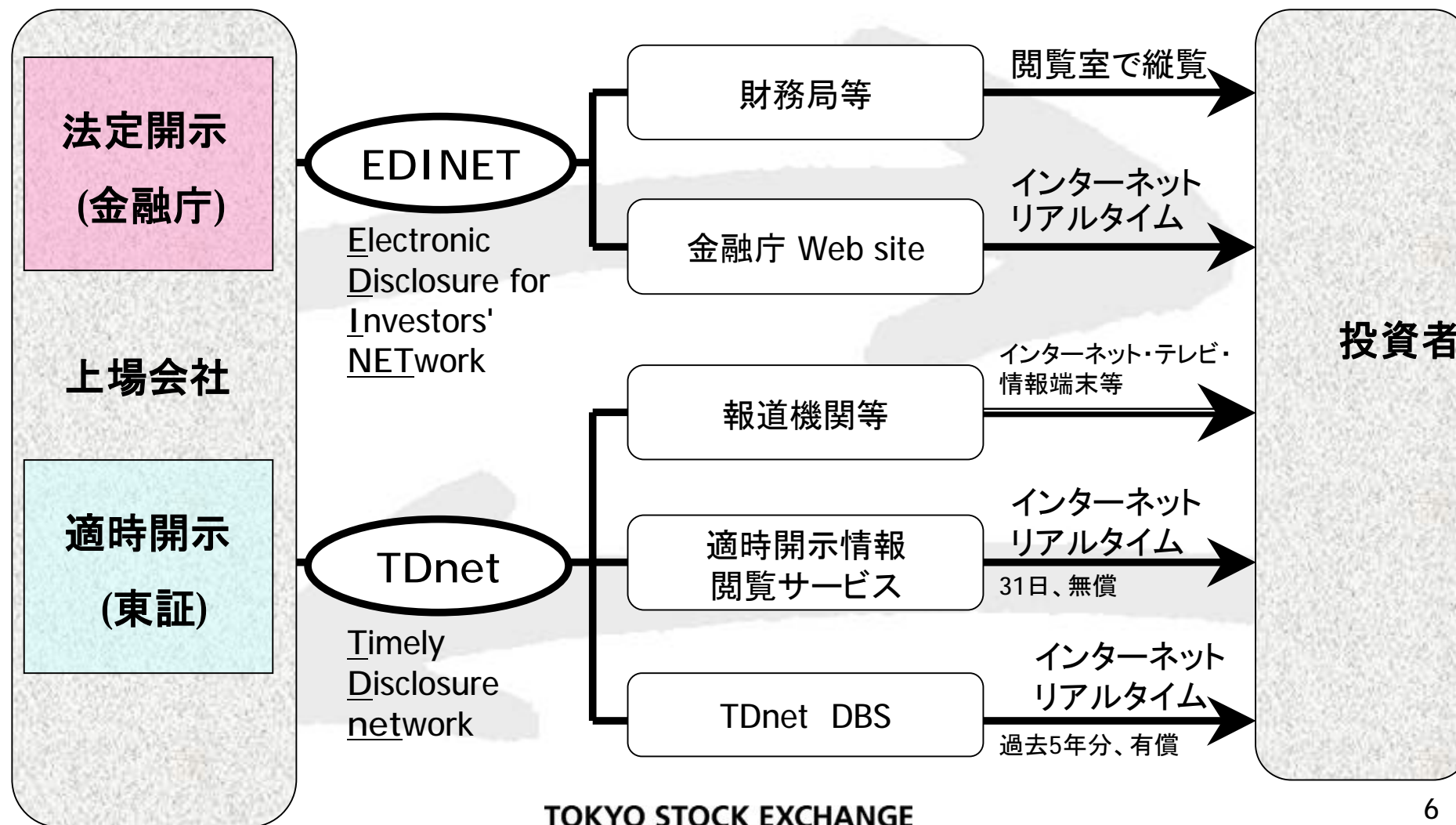
法定開示と適時開示の特徴

	証券取引法に基づく法定開示 〔有価証券報告書、半期報告書、臨時報告書〕	証券取引所規則に基づく適時開示
	投資者の投資判断に必要な基本的かつ正確な情報の提供	投資者の投資判断に重要な影響を及ぼす会社情報の適時適切な提供
正確性	◎	○
速報性	△	◎
開示形式の自由度	×	○
比較可能性	◎	○
周知対象	全投資者	全投資者
正確性確保の手段	刑事罰、課徴金、民事賠償、監査制度 【証券取引法】	法定開示の正確性を基礎 改善報告書の徴求【証券取引所規則】
	「虚偽記載」で重大なものは上場廃止 【証券取引所規則】	5年以内に3回目の改善報告書徴求 事由が生じた場合は上場廃止【証券取引所規則】

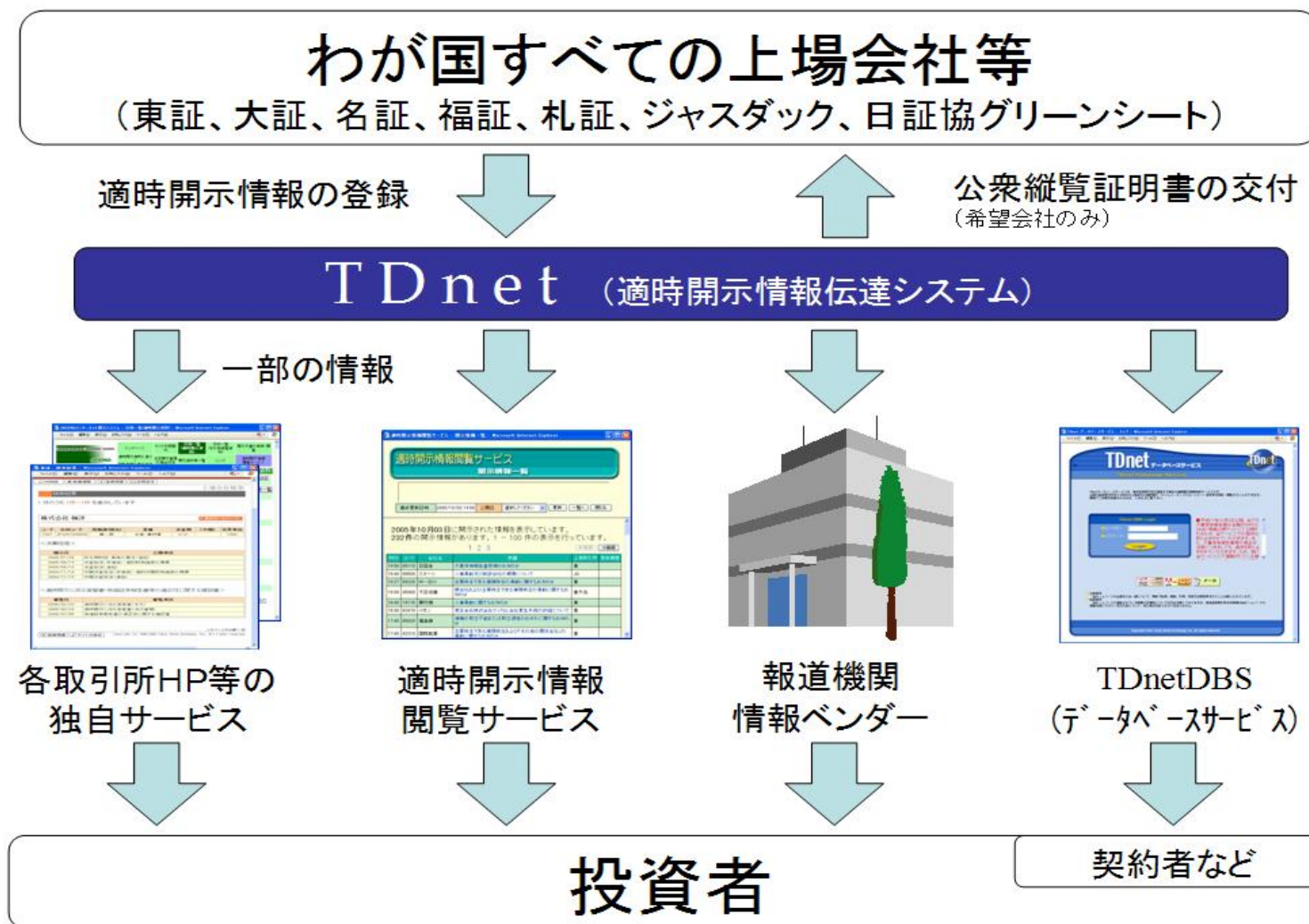
法定開示と適時開示の開示時期比較

法定開示	適時開示
<ul style="list-style-type: none"> ・有価証券報告書 (期末後、3か月以内に提出) 	<ul style="list-style-type: none"> ・決算短信 (開示までの平均所要日数42.6日) ※2006年3月期本決算実績
<ul style="list-style-type: none"> ・半期報告書 (期末後、3か月以内に提出) 	<ul style="list-style-type: none"> ・中間決算短信 (開示までの平均所要日数42.3日) ※2006年3月期中間決算実績
<ul style="list-style-type: none"> ・四半期報告書 (期末後、45日以内の政令で定める期間内に提出) ※ 2008年4－6月から適用 	<ul style="list-style-type: none"> ・四半期財務・業績の概況開示 (開示までの平均所要日数33.9日) ※2006年3月期第1四半期実績
<ul style="list-style-type: none"> ・臨時報告書 (提出要件に該当後、遅滞なく提出) 	<ul style="list-style-type: none"> ・決定事実・発生事実 (決定・発生後、直ちに開示)

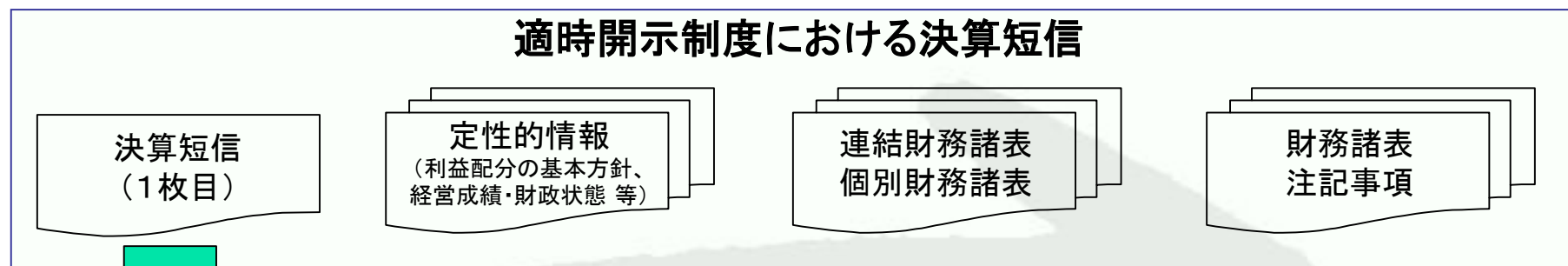
開示情報の流れ



TDnet (Timely Disclosure Network) の概要



決算短信の構成と数値データ化の範囲(現状)

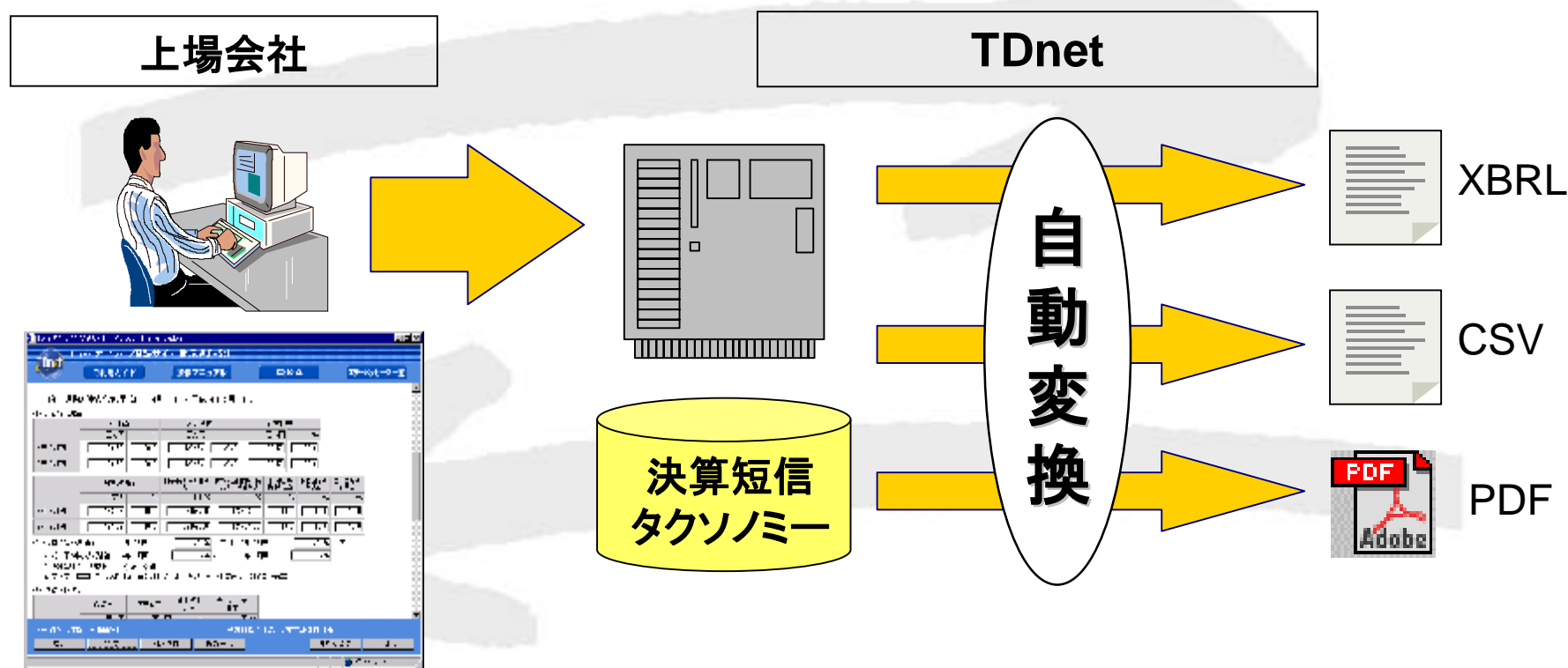


**1枚目部分
(主要指標部分)
をXBRL化**

- ・連結経営成績 (売上高、営業利益、経常利益、当期純利益、1株あたり指標、持分法投資損益 など)
- ・連結財政状態 (総資産、純資産、自己資本比率、1株あたり純資産、期末発行済株式数 など)
- ・連結キャッシュフローの状況 (営業CF、投資CF、財務CF、現金・現金同等物残高 など)
- ・連結範囲等に関する事項
- ・連結範囲等に関する異動状況
- ・連結業績予想 (売上高、経常利益、当期純利益 など)
- ・個別経営成績 (売上高、営業利益、経常利益、当期純利益、1株あたり指標、持分法投資損益 など)
- ・個別財政状態 (総資産、純資産、自己資本比率、1株あたり純資産、期末発行済株式数 など)
- ・個別業績予想 (売上高、経常利益、当期純利益 など)
- ・配当状況 (前記実績、当期実績、翌期予想、配当金総額、配当性向、純資産配当率 など)

TDnetにおけるXBRLの活用(平成15年7月より)

- 決算短信・業績予想の修正などの数値情報の入力・蓄積にXBRLを利用。
- XBRL2.0 Specificationを利用した社会システムでの本稼働として、世界初の事例。
- 上場会社は、XBRLを利用していることを意識せずに、自動的にXBRLデータを生成可能。



入力フォームを提供

TOKYO STOCK EXCHANGE

東証の電子開示への取組み①

- n 1998年(平成10年)
 - n 第1次TDnet稼働(紙による開示から電子開示へ)
- n 1999年(平成11年)
 - n 会社情報の適時開示について規則化の実施
 - n 全国連携システムの稼働(名証、福証、札証がTDnetの利用を開始)
- n 2000年(平成12年)
 - n オンライン登録システムの稼働
 - n JASDAQ(現・JASDAQ証券取引所)がTDnetの利用を開始
- n 2003年(平成15年)
 - n 東証ホームページに無料の株価検索サイトを開設
 - n 第2次TDnet稼働(XBRLの採用、数値データの提供、セキュリティの大幅強化)
- n 2004年(平成16年)
 - n 四半期開示情報の東証ホームページ掲載開始
 - n 日証協グリーンシート銘柄がTDnetの利用を開始
 - n 適時開示情報閲覧サービス開始(8日間無料リアル提供開始)

東証の電子開示への取組み②

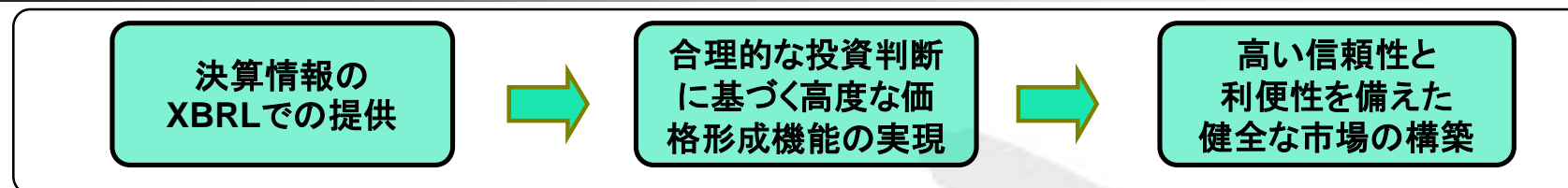
- n 2005年(平成17年)
 - n 適時開示に係る宣誓書、有価証券報告書・半期報告書の適正性に関する確認書の東証ホームページ掲載開始
 - n 適時開示情報閲覧サービスの拡充(掲載期間を31日間に拡大)
 - n 四半期開示情報の数値データ提供開始、XBRLデータ蓄積開始
 - n XBRL啓発サイトの開設

- n 2006年(平成18年)
 - n 適時開示情報閲覧サービスの拡充(検索機能の付加)
 - n 適時開示情報閲覧サービスの緊急能力増強

XBRLに期待される効果

- n XBRL FR(財務報告)に期待される効果
 - n 開示資料の作成過程の迅速化、効率化
 - n 法改正や会計基準改正への対応の迅速化、効率化
 - n 作成者による作成ミスの削減
 - n 監督当局などによる検査精度の向上
- n XBRL GL(総勘定元帳)に期待される効果
 - n 連結決算作業の迅速化、効率化
 - n 会計監査作業の迅速化、効率化
- n この結果として適時開示体制の整備に必要な開示手続のポイントのうち
 - n 迅速性
 - n 正確性 の両立を高レベルで達成することを期待

XBRLに関する基本認識



有価証券報告書等に関する業務の業務・システム最適化計画
平成18年4月21日公表(平成18年3月28日金融庁行政情報化委員会決定)

基本理念

XBRLをEDINETにも導入することで開示情報の二次利用性を高め、開示書類等利用者の利便性を向上させるとともに、広く国民が利用しやすいシステム環境を整備

実施内容

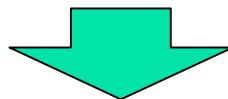
EDINETにXBRLを導入することで、EDINETから二次加工可能なデータ形式で開示情報を取得できる機能を提供し、以下のとおり開示情報の高度な再利用を実現

【基本認識】

有価証券報告書のXBRL化の動向を踏まえて、
適時開示制度の決算情報においてXBRLを本格導入することが適当

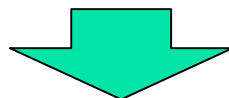
決算短信XBRLデータ試験公開(平成18年4月より)

現行TDnet：内部処理にてXBRL Spec.2.0を採用(世界で初めて実用化)
→ 上場会社の決算短信1枚目データをXBRL化して蓄積(平成15年～現在)



XBRL Spec.2.1にてタクソミーをプロトタイプとして開発

※ 現行TDnetが蓄積しているSpec.2.0のデータ(インスタンス)のうち
業種・会計基準を勘案し、33社を抽出し、Spec.2.1にアップデートする作業を実施



- ①XBRL定義(タクソミー)、②XBRLデータ(インスタンス)を一般公開
- ③XBRL試用ソフトも提供

【ねらい】

→ インターネット上で
“誰でも自由にXBRLを体験できる環境”を提供し、認知度の向上を図る

決算短信XBRLデータ試験公開の内容

試験公開サイトでは、決算短信XBRLデータを利用して、次のようなことが体験可能

- ・XBRL形式のデータを、決算短信1枚目様式のイメージにて表示することや、財務指標の項目名称を英文に変換して表示すること
- ・複数の会社の財務指標の比較や、同一の会社の財務指標を経年比較すること
- ・それらのデータをHTML形式で表示することや、表計算ソフトにて加工すること など

試験公開の対象

決算短信XBRLインスタンス
(東証上場会社33社分・直近3期分のデータ)

決算短信XBRLタクソミー(試験公開版)

XBRLデータを閲覧するための試用ソフトウェア2本

- インスタンス ビューワ プラグイン(Fujitsu Instance Viewer Plugin)
- インスタンス ダッシュボード(Fujitsu Instance Dashboard)



- [illegible]

決算短信等へのXBRLの本格導入に関する 基本方針を策定・公表(平成18年4月)



■ 投資者が決算情報を利用しやすい環境を整備→投資者の利便性などの市場機能の向上を図る



【基本方針】

適時開示制度における決算情報(決算短信等)について、EDINETにおける動向等を踏まえて、平成20年度を目途として、TDnetにおいてXBRLを本格導入する。

- ・ 適時開示制度における決算情報の授受・提供について、XBRLを活用する。
- ・ 決算短信の1枚目に加え、基本財務諸表をXBRL化の対象とする。

(登録・配信の具体的な方式など詳細については、利用者のニーズ等を勘案し、今後検討)

